

AREA.Aichi-Pref.  
AREA.Mie-Pref.

愛知県、三重県

# 40 伊勢湾

いせわん

Ise Wan

## 海域の概要

本湾は、本州中央部に位置する大規模な内湾で、湾奥には大都市名古屋を抱えます。湾内ではマリンスポーツが盛んです。また、ノリ・イカナゴ・シジミなど、様々な魚介類が獲れます。



## Specification

### 諸元

湾口幅：347 km

面積：2130 km<sup>2</sup>

湾内最大水深：49 m

湾口最大水深：43 m

閉鎖度指標：152

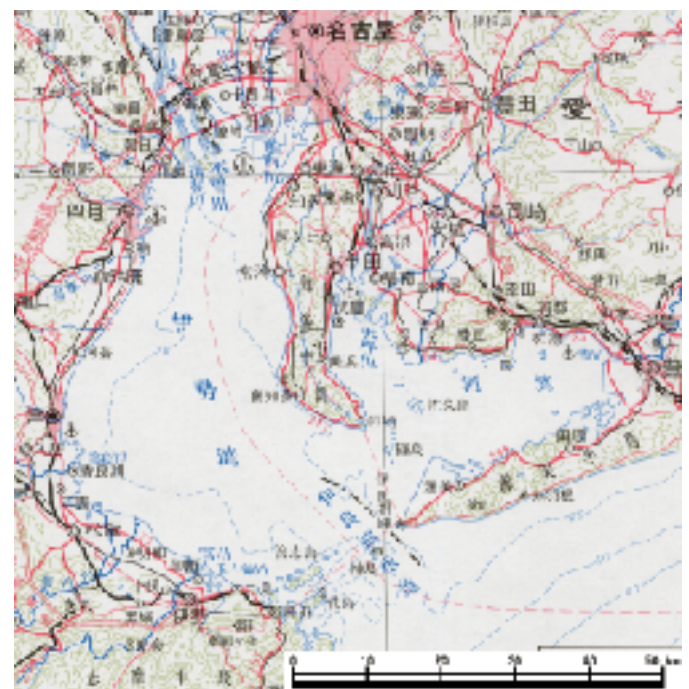
備考：総量規制区域

環境基準類型指定水域

## Location

### 範囲または位置

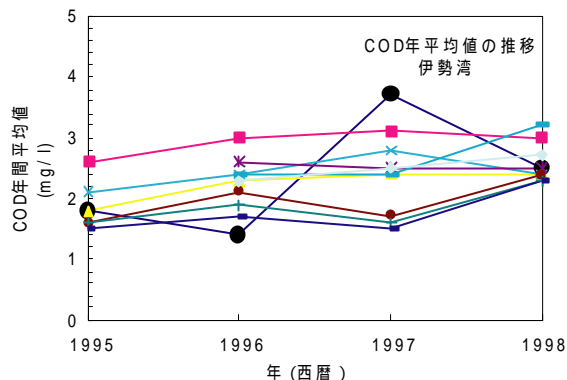
水質汚濁防止法施行令第4条の3第2号に規定する海域（愛知県伊良湖岬から三重県大王崎まで引いた線及び陸岸により囲まれた海域）。



## 環境

伊勢湾は日本の中央に位置する日本最大級の内湾です。約20 kmと狭い湾口部に大小の島々が存在し、かつ、湾内の海底地形が中央域で盆状であることから、外海水との水交換が悪く、汚濁物質が蓄積しやすい閉鎖性水域となっています。

伊勢湾では、水質環境基準の確保を目的として、CODの水質総量規制が導入されており、COD汚濁負荷量の総合的・計画的な削減が図られています。今後、CODに加えて窒素磷を対象とした水質総量規制が予定されています。



## 自然

伊勢湾の平均水深は16.8mで、広大な水域面積にもかかわらず三大湾では最も浅い水域となっています。伊勢湾地域は知多半島によって、西の伊勢湾、東の三河湾に分かれており、さらに三河湾は2つの湾に分かれています。3湾の成因は構造的な沈降性によるものと考えられています。

伊勢湾には伊勢志摩国立公園、三河湾国定公園に指定されている区域もあり、竹島の特定植物群落 大島のナメクジウオ等がみられます。

湾奥の藤前干潟は、アユが遡上する木曾川 長良川等が流入しており、「年魚市潟(あゆちがた)」と呼称された頃もあり、シギ チドリ等の年間70種以上、3万羽の水鳥が飛来し、シジミアサリが採れます。

この地域は低地であることから河川氾濫や高潮被害を受けやすく、過去には伊勢湾台風で大きな被害を受けました。



## 文化歴史

伊勢湾流域では、国土の中央に位置する地理的条件や交通条件を背景に、沿岸地域に個性あるまちが発達し、多様な産業や文化が育かれました。特に、第二次大戦後は、臨海部における製造業の集積を図りながら、我が国の高度経済成長に大きな貢献を果たしてきました。しかし、その過程で、行われた埋立等により、多種多様な生物の生息場であり、すぐれた環境保全機能を有する干潟藻場等が減少しました。

## 産業

三河湾を含む伊勢湾では周年、多種多様な漁業が操業されており、主たるものは浮魚を対象としたパッチ網 船びき網と、底性魚介類を対象とする小型底びき網です。愛知県の漁獲統計では引き回し船びき網は兵庫、三重につぎ第3位、小型底びき網は北海道、愛媛に次ぎ、第3位の漁獲量を挙げ、底びきの主たる漁獲物でもあるアサリ類は全国1位の生産をあげています(平成11年度)。

名古屋・四日市を中心とした中京工業地帯を形成しており、現在、常滑沖では中部新空港の建設が行われています。



小型底びき網漁業